

永久に月額課金なし!
生涯買い切りストレージプラン

【DIVER BOX】

2GB

生涯

\$1

500GB

生涯

\$200

2TB

生涯

\$500

5TB

生涯

\$800

GB数がなくなったら
チャージをすればいい。
(GB・TB追加)

新時代のサービスです。

DIVER BOXを契約しておくとっても便利!



大容量のドキュメントの保存



フォルダーの共有



場所を選ばないアクセス性



セキュリティとプライバシー機能



バックアップと復元



リスク回避

クラウドストレージの代表的なサービス

クラウド
ストレージを
使うメリット

- ① ファイルを一元管理できる
- ② 自動化によるバックアップの省略化
- ③ ファイル共有の簡略化や共同編集による作業の効率化
- ④ サーバー運営や管理が不要
- ⑤ 場所を問わずアクセスできる
- ⑥ 災害時のリスクヘッジになる



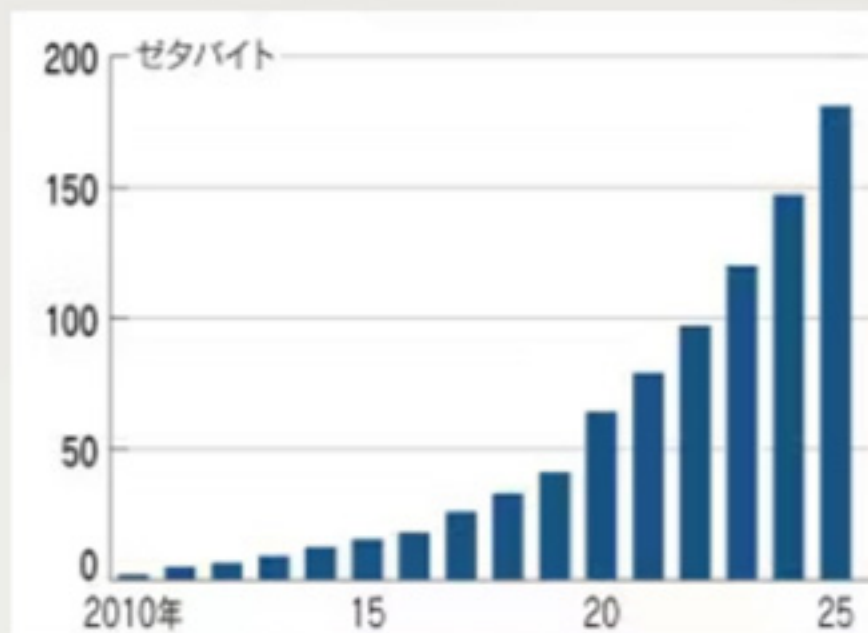
サービス名	料金	使用ギガ数	無料プラン	年額	10年使用した場合の料金
iCLUSTA(GMOクラウド)	10,269円/月	3TB	×	123,228円	1,232,280円
Google Workspace	7,338円/月		○ (15GBまで利用可能)	88,056円	880,560円
さくらレンタルサーバー	3,840円/月		×	46,080円	460,800円
Dropbox Business	1,500円/月		○ (2GBまで利用可能)	18,000円	180,000円

データ量爆発、25年に2倍 **コスト面／環境面に問題発生**

データ量180ゼタバイト IoTデバイス300億台

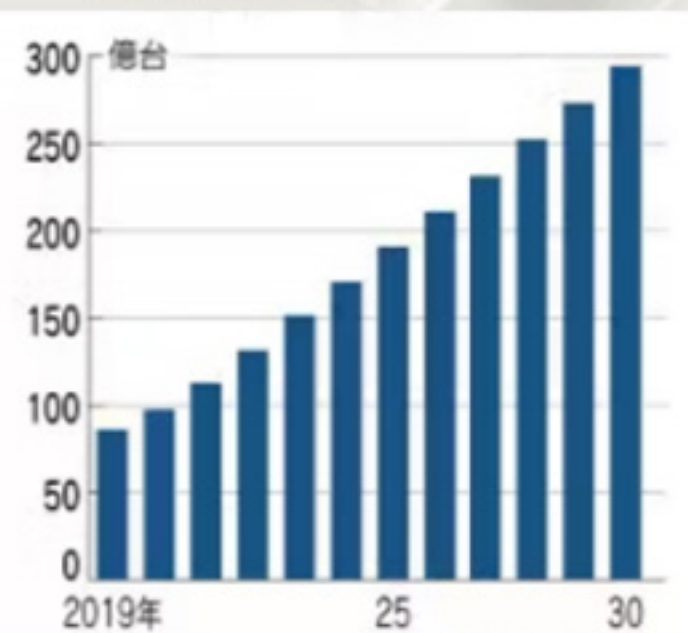
人工知能(AI)などデジタル技術の革新を支えるのはデータの増加だ。世界で生まれ、利用されるデータ量は2025年に22年の約2倍の**180ゼタ(ゼタは兆の10億倍)**バイトに達するとの予測もある。工場や倉庫、家電製品にネットワークとつながるIoT機器が組み込まれ、次世代通信規格「6G」や人工衛星を利用した通信によってデータを取得し生かす環境も一段と進化する。

世界で生まれ利用されるデータの総量



(注) IDC、シーグイト、スタティスタの予測。ゼタは兆の10億倍

ネットワークでつながるIoT機器の台数



(出所) トランスフォーマ・インサイト

クラウドストレージの市場規模(年間)

2028年に2,406億3,000万米ドル到達予測



クラウドストレージは、インターネットを通じてアクセス可能なリモートサーバーにデータを保存することができるデータ保存のための仮想モードで、サーバーは、クラウドストレージプロバイダーによって維持、運営、管理されています。クラウド上に保存されたデータは、インターネットを通じてアクセスし、共有することができます。また、人間の言葉でやり取りする次世代システムであり、非構造化データの複雑さを理解することで専門家がより適切な意思決定を行うのに役立ちます。

ビジネスの俊敏性の向上に加え、セキュリティや信頼性の向上を期待して、**企業がリソースをクラウド環境に移行するケースが増加**していることから、市場は拡大しています。**SaaS (Software as a Service) 支出は最大のセグメントで、収益は約2,490億米ドル**に達します。※インターネット調べ



Web3時代をリードする 分散型暗号化ストレージ「DIVER STORAGE」

Web3時代に注目されているのが、
ブロックチェーン技術や暗号化技術などを活用した**分散型暗号化ストレージ**です。
分散型暗号化ストレージの普及が進むことで、以下のようなメリットが期待されています。



信頼性が高い

分散型暗号化ストレージに保存されたファイルは、P2Pネットワーク上で分散化して管理されます。そのため、システム障害やサイバー攻撃といった問題が発生した場合でも、他のノードは影響を受けず、ユーザーは引き続きデータを利用できます。



セキュリティが強化される

分散型暗号化ストレージの暗号鍵はデータの所有者のみが保持しているため、ストレージのプロバイダーはアクセスできません。暗号化されたデータを分散化させて保存することにより、ハッキングや改ざんのリスクも軽減されます。



導入・管理コストを削減できる

一般的な従来型クラウドストレージのように大規模なデータセンターを必要としないため、コストやエネルギーの削減につながります。

Web3時代をリードする 分散型暗号化ストレージ「DIVER STORAGE」

分散型暗号化ストレージは、**複数のノード（ネットワークの接点）をP2P（ピア・ツー・ピア）ネットワークで接続**し、保存場所を提供してくれるネットワーク参加者のパソコンや、スマートフォンの空き容量に**暗号化したデータファイルを分散させて保存**するという仕組みです。



ネットワーク参加者はボランティアが多いですが、空き容量を提供することにより、「報酬」を得ることも可能です。また、データファイルが不特定多数のユーザーのストレージに保存されていますが、データが高度に暗号化されており、さらに細切れに分散化／断片化されてストレージに保存されているので、セキュリティの安全性確保に繋がっています。

惑星間クラウドストレージ

DIVER Storage



世界中の遊休PCにデータを断片保存させDIVER Chainで繋ぐ
= 惑星間データセンター『**IPDC**』の開発に成功!

データを非公開NFT化してオンラインストレージに保存！

分散型暗号ファイルシステムを実現！

DIVER STORAGE 分散型暗号
ストレージ

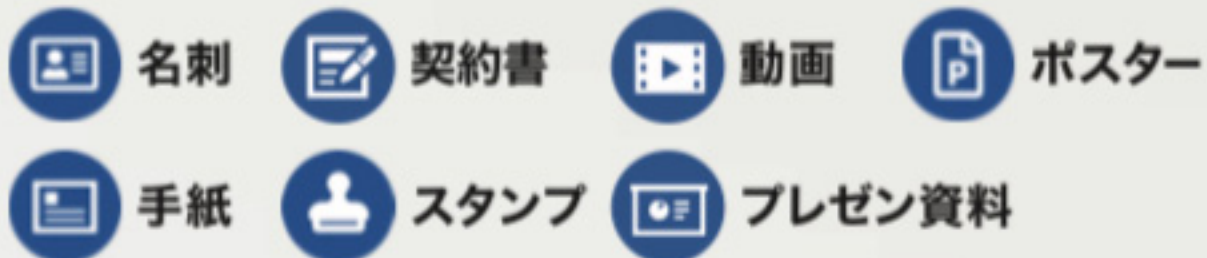
ブロックチェーンアーカイブ

改ざんが
不可能

透明性が
高い

エラーなどの
障害に強い

中央管理者が
いない



Web 3.0

ブロックチェーン型
クラウドの場合

低コスト

消えない

データ所有者のみアクセス可

Web 2

企業運営サーバー型
クラウドの場合

高コスト

物理的に消える可能性有り

データ所有者以外もアクセス可

ブロックチェーンは、さまざまな分野で 応用が期待されている

貿易金融	信用状などの書類をペーパーレス化
流通の管理	生産から消費まで追跡
電子投票	株主総会で議決権投票の事例
保険	本人確認や審査、保険金請求が円滑に
不動産取引	契約や登記、資産の移動をデジタル化
電力の取引	電力会社を経由しないで融通
著作権管理	コンテンツの作成者を証明

帳簿や書類の保存方法

資料ファイルを非公開NFT化して分散型ストレージに保存

～ブロックチェーンアーカイブ～

対象となる帳簿・書類	国税関係帳簿	国税関係書類		電子取引
	仕訳帳 総勘定元帳 その他の帳簿 (補助簿) 等	決算関係書類	取引関係書類	
貸借対照表 損益計算書 棚卸表 計算、整理又は決算に関して 作成されたその他の書類		自己が作成する 書類の写し等	相手方から 受領した書類等	見積書 契約書 請求書 領収書 等
保存方法	電子データ保存		スキャナ保存	電子データ保存

データセキュリティ市場

2023年のセキュリティ市場における産業分野／企業規模別の予測は、グローバルでは2022年と比べて**12.1%増の2190億米ドル**、国内では同**7.1%増の9336億円に達する**ことが分かった。

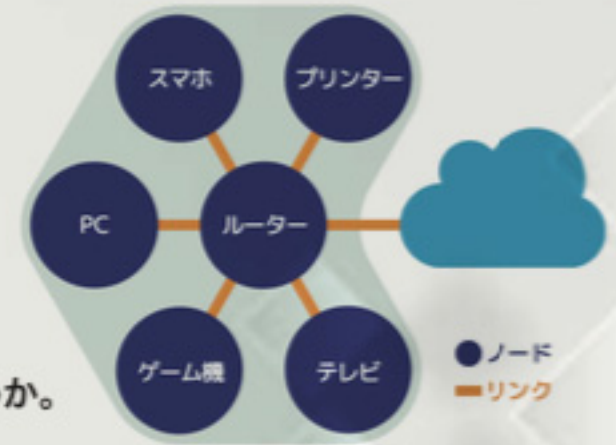


2022年の国内では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大によりリモートワークが拡大したことで、インターネット経由の企業システムへのアクセスが増加し、EDR (Endpoint Detection and Response)を含むエンドポイント・セキュリティやID管理市場が拡大。さらに、企業に対するランサムウェア攻撃やDDoS攻撃などのセキュリティ・インシデントが数多く報告され、サイバー・セキュリティ対策市場が拡大した。また、消費者でのeコマースやインターネット・バンキングの利用が浸透し、認証の厳密化やなりすましの防止などの需要が拡大したとみている。ウィズは2023年2月に企業評価額100億ドル(約1兆4000億円)をつけ、3億ドル(約420億円)を調達した。ウィズへの出資者リストには、大手のベンチャーキャピタルに加えて、仏高級ブランドLMVHの創業者ベルナール・アルノーや、スターバックスの創業者ハワード・シュルツなどの富豪たちも名を連ねる。

Node(ノード)について



情報通信のネットワークでいうところの「点」です。つまり、個々の機器を指します。コンピューターやルーター、ハブ、モデムなどがノードの代表的な例です。「ノード」という言葉自体は、情報通信の専門用語であり暗号資産(仮想通貨)特有の言葉ではないということです。たとえば植物では、茎と葉をつなげる「節(せつ)」のことを「node」と言います。何かにつながっているものを広くノード(Node)と呼ぶ、といえイメージしやすいでしょうか。



ノードの機能

1

ルーティング

データの送信先までの通信経路を割り出す機能です。ほとんどのノードがルーティング機能を持っていると考えられます。

2

ブロックチェーンデータベース

ブロックチェーンのコピーを持つ機能のことです。ほとんどのノードがこの機能も持っていますがそのダウンロード量によって「フルノード」と「軽量ノード(SPVノード)」に分けられます。

3

マイニング/ウォレット

まさに、ビットコインなどの暗号資産マイニング(=承認作業)を行う機能と暗号資産の保管機能を指しています。この2つの機能を持たないノードも少なくありません。